

『全力投球』

～自分の夢・目標の実現のためいろんなことに
積極的に一生懸命に取り組もう～

貝塚市立第四中学校
進路担当 鳥居清一郎
平成25年12月2日(月)

第21号

第5回進路学活～願書の書き方について～

今日の学活では願書の書き方について学びます。みなさんは、これからいろいろな場面で、社会のルールにしたがった書類を書くことになっていきます。今日練習する願書もその書類の1つです。なので、いいかげんな書き方やルールを無視した書き方をすると、願書を受け付けてもらえない可能性もあります。これから説明する点に十分注意して願書を書くようにして下さい。

1. 準備する物

黒のペンまたは黒のボールペン（出願の際にもいります。どのペンで書いたかを覚えておくこと）
エンピツ・印鑑（朱肉を使うもの。シャチハタは不可です。）消しゴム・朱肉・写真（先週撮影したもの）・振込用紙

※今回の学活ではエンピツ（シャーペン）だけでも可能です。

2. 書き方

①必ず注意事項を読む

特に私立高校の願書については、様々な様式があります。高校ごとに記入についての注意事項をきちんと読み、記入すべき所に正確に書くようにして下さい。

②下書きをする

エンピツで薄く下書きをします。下書きを濃く書きすぎてしまうと、清書後、下書きを消す際に跡が残ってしまったり、書き間違えたときの訂正がはっきりとわからなくなったりする場合があります。

本番では、下書きが出来た時点で担任の先生にチェックしてもらいます。

③ペンで清書する

エンピツでの下書きを消さずに、その上から清書をするようにします。先に下書きを消してしまうことで、せっかくチェックをクリアした正しい書き方を忘れてたり、書き間違えたりする可能性があります。必ず、下書きの上から記入すること。

本番では、清書が終わった時点で担任の先生にチェックしてもらいます。

④写真と振り込み用紙を貼りつけ、印鑑を押す

清書まですんだ願書に、貼り付けます。最初に貼りつけてしまうと、記入中に汚してしまったり傷をつけてしまったりする可能性があります。印鑑についても同様です。また印鑑を押してもらう際には保護者の方にチェックを受けてもらうようにして下さい。

3. 記入に関して、その他の注意事項

- ・字は楷書（かいしょ）《字体を崩さない》で丁寧に記入すること。
- ・もしペンでの記入を間違えたら、必ずペンで二重線を引き、印鑑を押すこと。修正液等で消すことは絶対にしてはいけません。
- ・提出期限を守って完成させる。守らないと他の人に迷惑がかかったり、高校に受け付けてもらえなかったりします。願書完成までには担任の先生と何度もチェックのやりとりをしなくてはなりません。スムーズにいても完成までに3日～5日はかかります。チェックを受けたら、その日のうちに作業にかかるようにして下さい。
- ・その他、記入に関して分からないことがあれば、担任の先生に確認をするようにして下さい。（注意事項等での確認も忘れないこと）
- ・私立の願書については、12月の懇談で決定した受験校に冬休み中に取りに行ってもらうことになります。
- ・公立の願書（振込用紙を含む）については、学校にあります。受検校に取りに行く必要はありません。

志望校に提出する大切な書類です。誰かが完成させてくれるのではなく、自分が完成させなくてはならない書類です。しっかりと気持ちを込めて、分からないことは自分で調べたり、聞いたりして完成させるようにして下さい。